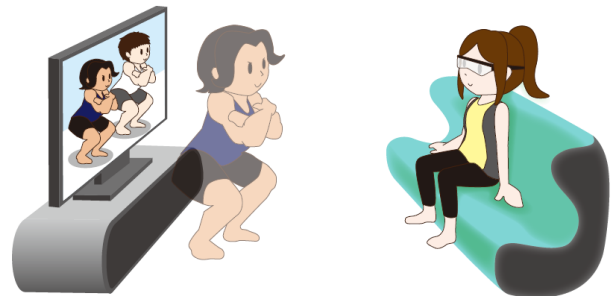


「技研公開2019」の開催について

- NHK放送技術研究所（技研）の最新の研究成果を一般に公開する「技研公開2019」を、5月30日（木）～6月2日（日）の4日間の日程で開催します。
- 「ワクからはみ出せ、未来のメディア」をテーマに、3DテレビやAR・VRを活用した、従来のテレビのワクを越えた視聴サービスを実現する技術など24項目の研究成果を展示します。表現空間を拡張した多様なコンテンツやサービスの実現を目指した「リアリティーイメージング」の研究成果からは、高精細VR映像や、AR技術を活用したテレビ視聴サービス技術などを展示します。

● ARを活用したテレビ視聴スタイル

AR技術を活用して、テレビ画面から出演者が飛び出すような新しいテレビの視聴スタイルを実現する技術です。放送と同期してインターネットで配信される出演者の3D映像が、AR用メガネやスマートフォンのカメラ機能を利用してテレビの前に実物大で表示されます。



● 高精細VR映像

VR技術と高精細映像とを組み合わせることで、リアルで高い没入感の実現を目指した高精細VR映像です。180度の視野を覆う大画面のスクリーンで高精細なVR映像を上映します。将来、VR用メガネなどのさまざまな視聴スタイルで楽しむことができる没入感の高い映像を、大画面のスクリーンで多くの方に体験していただきます。



大画面のスクリーン（間口11m×高さ4m）

- A I を活用して番組制作を支援する「スマートプロダクション」の研究成果からは、自然で滑らかに気象情報を読み上げる A I アナウンサーの技術^{※1}や、地域放送局での字幕制作の拡充に向けて、A I を活用して生放送の音声から自動的に字幕を作りスマートフォンなどにインターネット配信する技術^{※2}などを展示します。

※1：2019年1月23日発表「A I アナウンサーで気象情報を自動音声化！」

※2：2019年1月23日発表「福島・静岡・熊本での字幕実験について」

- 技研の講堂では、5月30日（木）に基調講演、31日（金）に技研職員による研究発表「ラボトーク」を実施します。また8Kスーパーハイビジョンのコンテンツ上映も行います。
- 週末の6月1日（土）、2日（日）には研究員が解説する「ガイドツアー」や、お子さまを対象としたイベントも開催します。

第73回 技研公開 <https://www.nhk.or.jp/strl/open2019/>

【開催期間】 2019年5月30日（木）～ 6月2日（日）

【会場】 NHK放送技術研究所（東京都世田谷区砧）

【入場】 無料

(別紙)

○展示項目一覧

リアリティー イメージング	2030～2040年ごろのメディア技術
	高精細 VR 映像
	AR を活用したテレビ視聴スタイル
	インテグラル 3D 映像
	インテグラル 3DCG 映像のリアルタイム生成技術
	3次元映像の奥行き表現技術
	将来の3次元映像表示デバイス
	フルスペック 8K 制作技術
	22.2 マルチチャンネル音響の適応ダウンミックス
	次世代撮像デバイス技術
	超大容量ホログラムメモリー
	フレキシブルディスプレイの要素技術
	4 K 8 K 伝送技術
	地上放送高度化方式の大規模野外実験
	次世代映像符号化方式 VVC (Versatile Video Coding)
オブジェクトベース音響による次世代音声サービス	
コネクテッド メディア	ネット×データ×IoT が連携するメディア技術
	テレビ視聴ロボット
	IP 番組制作設備のクラウド化
スマート プロダクション	生放送番組における自動字幕制作
	AI アナウンサー
	ニュースを対象とした日英機械翻訳システム
	スポーツの状況を体感できる触覚インターフェース
	スポーツ映像の状況理解技術

○基調講演：5月30日(木) 午前 2件(各60分)

- 「身体の未来 拡張現実感から人間拡張工学へ」
東京大学 先端科学技術研究センター 教授 稲見昌彦氏
- 「空間表現を広げる視覚のしくみ」
東北大学 電気通信研究所 所長・教授 塩入諭氏

○ラボトーク：5月31日(金) 午前 技研職員による研究発表6件

- 最新の研究内容を映像やデモを交えて、より分かりやすくご紹介します。